

論点等説明シート

事業名

フリーター支援事業

予算の状況
(単位:百万円)

予算額(補正後)

令和元年度

令和2年度

令和3年度

令和4年度

令和5年度要求

3,209

2,963

2,956

2,513

執行額

3,018

2,562

2,782

執行率

94%

86%

94%

事業についての論点等

(事業の概要)

全国22か所のわかものハローワーク等を拠点に就職支援ナビゲーター等を配置し、フリーターに対して正規雇用化に向けた就職プランを作成し、担当者制による個別支援、正規雇用に向けたセミナーやグループワーク等の各種支援や就職後の職場定着支援を実施するとともに、アルバイト等をしながら仕事探しを行うフリーター、ハローワークへの来所にはまだためらいがある若者の就職等に関する悩みや相談について、キャリアコンサルタント等による相談を実施。

なお、本事業はR元年度の秋のレビューにおいて『新卒・若者向け就業支援』の対象事業の一つとなり、わかものハローワークの設置数の見直し等を継続的に行っているところ。

【主な支援内容】

- ・初回利用時のプレ相談の実施、担当者制によるマンツーマンでの個別指導支援
- ・正社員就職に向けた就職プランの作成、職業相談・職業紹介
- ・正社員就職に向けたセミナー、グループワーク等の各種支援メニュー
- ・就職後の定着支援の実施 等

【実施主体】

都道府県労働局

【実績】(令和3年度)

わかものハローワーク等におけるフリーターの正社員化率 63.5%

わかものハローワーク等の新規登録者数 180,608人

ハローワークにおけるフリーターの正社員化数 108,235人

(論点)

・フリーターの数が180万人規模で推移していた平成20年代前半と比較すると、令和3年は137万人となっており、減少幅は鈍化傾向(令和3年は僅かに増加)にあるが、本件事業の対象者数は大きく減少している。景気の悪化や新型コロナ感染症等の不確定要素も考慮する必要はあるが、現状を踏まえつつ、引き続き、事業の効率化を行い、事業規模の縮小を図ることができないか。

・具体的には、オンラインでの相談・セミナーの実施等により、業務の効率化を図ることで、人員体制の見直しなどを検討できないか。

・また、今後も若者に特化したハローワークを設置する必要はあるのか。就職氷河期世代への支援と同様に、わかものハローワークは一般のハローワーク内で行うことはできないか。